



オンライン

住宅医 スクール

The projects of Architectural Pathologists 2021-01

住宅医の仕事 2021-01

量から質へ。既存住宅に関する知識や技術が求められる時代です。

既存住宅の調査・診断から改修設計・施工・維持管理等ができる「住宅医」を育成するため、
今年も住宅医スクール2021(第12期)を開催しています。

「住宅医の仕事」は、全国で活躍している住宅医の仕事を発表し合う場です。

2021年第1回は、岐阜県、奈良県、山口県の3名の住宅医による仕事をご紹介します。

7/2 (金) 17:00~19:00

住宅医の仕事 2021-01

オンライン開催 (ZOOM利用)



篠田三起子
(株)創造工舎
【奈良県】

『それぞれの住まい改修の正解をもとめて。
～藤原京の家、三宅町の家から』

限られた予算の中で、いつも優先順位をつけて、
其々のお住まいの最適解さがしに日々奮闘して
います。今回は、「Tドックスマイル作品リモデルコ
ンテスト」において全国最優秀賞をいただきました
築100年の民家改修の事例と、認知症のご
家族と未永く暮らせる家をテーマに改修した「藤
原京をのぞむ家」の2つの事例をご紹介します。



坂崎有祐
有建築設計舎
【岐阜県】

『6代住み継がれた古民家改修。
～次世代に繋ぐ200年住宅を目指す』

築130年の古民家の大規模改修物件をご紹
介します。耐震性、温熱性、省エネ性など、総合的
な性能向上を行い、今後も2世代住み継げるこ
とを目指しました。
生活時の温熱環境やエネルギー消費量の実測
値と共に、失敗を通して見えた課題などもお伝え
します。



田尻裕樹
(株)再生工舎
【山口県】

『住み継ぐ家屋の改修事例
～築100年・母の長屋+築40年中古住宅』

空家の増加が社会問題となっている現代ですが、
残された建物がそのままでは暮らしにくいとい
うことも一つの課題です。
<暮らしにくい>→<暮らしやすい>に改修した
「住み継ぐための改修」に取り組んだ事例をご紹
介します。

対象者 どなたでもご参加いただけます (※ZOOMを用いたオンライン形式でご参加頂きます)

定員 100名程度

参加費 無料

参加申込 一般社団法人住宅医協会ホームページ <申込フォーム> よりお申込みください。

申込締切 2021年6月30日(水)

主催 一般社団法人住宅医協会



【申込URL】 <https://sapj.or.jp/skillup20210702/>

Society of Architectural Pathologists Japan